

2022 年度秋期在学採用 日本学生支援機構 奨学生募集要項【2 年生以上】


1. 募集対象

- ◇ 大学で初めて日本学生支援機構奨学金を受ける学生。(以前に受けた経緯がある場合は、一度窓口で相談してください。)
- ◇ 現在、日本学生支援機構奨学金を貸与(給付)中で、①②いずれかに当てはまる学生。
 - ① 奨学金種の変更(第二種⇒第一種、もしくは第一種⇒第二種へ)
 - ② 現在貸与(給付)していない奨学金の追加

2. 募集内容

名称	日本学生支援機構奨学金 https://www.jasso.go.jp/																																											
	第一種	第二種	給付																																									
種類	貸与奨学金(無利子)	貸与奨学金(有利子)	給付奨学金 (授業料等減免制度含む)																																									
月額	通学状況により選択可能金額が変動。 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>自宅</td> <td>自宅外</td> </tr> <tr> <td>最高月額</td> <td>54,000 円</td> <td>64,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">月額</td> <td>40,000 円</td> <td>50,000 円</td> </tr> <tr> <td>30,000 円</td> <td>40,000 円</td> </tr> <tr> <td>20,000 円</td> <td>30,000 円</td> </tr> </table> ※最高金額選択は、併用貸与の所得基準 (『奨学金を希望する皆さんへ』P.7 参照)		自宅	自宅外	最高月額	54,000 円	64,000 円	月額	40,000 円	50,000 円	30,000 円	40,000 円	20,000 円	30,000 円	20,000 円～120,000 円までの金額の中から、1 万円単位で希望月額を選択可能。 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td colspan="2">自宅・自宅外</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">月額</td> <td>20,000 円</td> <td>80,000 円</td> </tr> <tr> <td>30,000 円</td> <td>90,000 円</td> </tr> <tr> <td>40,000 円</td> <td>100,000 円</td> </tr> <tr> <td>50,000 円</td> <td>110,000 円</td> </tr> <tr> <td>60,000 円</td> <td>120,000 円</td> </tr> <tr> <td>70,000 円</td> <td></td> </tr> </table>		自宅・自宅外		月額	20,000 円	80,000 円	30,000 円	90,000 円	40,000 円	100,000 円	50,000 円	110,000 円	60,000 円	120,000 円	70,000 円		所得要件に基づき定められた区分、通学状況により給付額を設定。 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>自宅</td> <td>自宅外</td> </tr> <tr> <td>第 1 区分</td> <td>38,300 円 (42,500 円)</td> <td>75,800 円</td> </tr> <tr> <td>第 2 区分</td> <td>25,600 円 (28,400 円)</td> <td>50,600 円</td> </tr> <tr> <td>第 3 区分</td> <td>12,800 円 (14,200 円)</td> <td>25,300 円</td> </tr> </table>		自宅	自宅外	第 1 区分	38,300 円 (42,500 円)	75,800 円	第 2 区分	25,600 円 (28,400 円)	50,600 円	第 3 区分	12,800 円 (14,200 円)	25,300 円
	自宅	自宅外																																										
最高月額	54,000 円	64,000 円																																										
月額	40,000 円	50,000 円																																										
	30,000 円	40,000 円																																										
	20,000 円	30,000 円																																										
	自宅・自宅外																																											
月額	20,000 円	80,000 円																																										
	30,000 円	90,000 円																																										
	40,000 円	100,000 円																																										
	50,000 円	110,000 円																																										
	60,000 円	120,000 円																																										
	70,000 円																																											
	自宅	自宅外																																										
第 1 区分	38,300 円 (42,500 円)	75,800 円																																										
第 2 区分	25,600 円 (28,400 円)	50,600 円																																										
第 3 区分	12,800 円 (14,200 円)	25,300 円																																										
出願資格	◇ 学業要件：平均 80 点以上下記(注 1) かつ、 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>2 年</td> <td>前期終了時 45 単位以上</td> </tr> <tr> <td>3 年</td> <td>前期終了時 75 単位以上</td> </tr> <tr> <td>4 年</td> <td>卒業見込 かつ 110 単位以上</td> </tr> </table> ※父母とも住民税所得割額が 0 円の場合、成績基準が緩和される。 (『奨学金を希望する皆さんへ』P.10 参照)	2 年	前期終了時 45 単位以上	3 年	前期終了時 75 単位以上	4 年	卒業見込 かつ 110 単位以上	◇ 学業要件：最短修業年限で卒業が見込める単位修得者 (2022 年度前期成績により判定)	◇ 学業要件：①②のいずれかに該当すること ① GPA (平均成績) 等が在学する学部等における上位 1/2 の範囲に属すること ② 修得した単位数(修得卒業要件単位数)が標準単位数(注 2) 以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書により確認できること。 ※添付の「資料 A」も必ず確認してください。 ◇ 家計要件：あなたと生計維持者の市区町村民税所得割が非課税、もしくは設定された基準未満であること(『給付奨学生案内』P.9 参照)																																			
2 年	前期終了時 45 単位以上																																											
3 年	前期終了時 75 単位以上																																											
4 年	卒業見込 かつ 110 単位以上																																											
期間	卒業最短修業年限																																											
決定	12 月上旬頃																																											
返還方法	卒業後 10～20 年間の月賦返還(返還期間は貸与総額により異なる)		返還不要 (廃止、退学の理由によって返還が必要となる場合あり)																																									
注意事項	(注 1) 平均点の算出方法 $\text{平均点} = \frac{(S \text{ の数} \times 97) + (A \text{ の数} \times 85) + (B \text{ の数} \times 75) + (C \text{ の数} \times 63)}{S \text{ の数} + A \text{ の数} + B \text{ の数} + C \text{ の数}}$ * 給付奨学金と第一種奨学金を併用する場合、第一種奨学金の金額が制限される場合があります。 (『奨学金を希望する皆さんへ』P.7、『給付奨学生案内』P.15 参照)																																											
	(注 2) 標準単位数 = 卒業要件単位数 ÷ 修業年限 × 在学年数、例えば、卒業要件が 124 単位で修業年限 4 年(編入生でない場合)の場合は、1 年末：31 単位、2 年末：62 単位、3 年末：93 単位となる * 機構「第二種」の利息は 3%以内となっており、卒業後の 4 月に利息が決定します。8 月頃、機構より利息が記載された返還開始書類が届きます。 * 地方自治体・各種団体奨学金などの募集があれば、随時、学内掲示します。 * 休学生は申請できません。																																											

3. 募集・選考日程

	事項	日程	内容	
申請手続き	申請書類一式配付	9月20日(火) 配付開始予定	大学 Web サイトのニュース & TOPICS 『奨学金秋期募集』からも採用の流れを確認、申請書類をダウンロードできます。 https://www.osaka-sandai.ac.jp/news/41299.html	大学 Web サイト秋期採用 2022 
	申請書類一式 提出	10月12日(水) 必着	窓口提出もしくは郵送 郵送の場合、必ずレターパックライトか簡易書留で送付ください。再提出を含めての期限となります。余裕をもってご提出ください。下書き用紙、スカラネット入力用 ID・パスワード等の受け取りを郵送で希望される方は、(宛先に学生の住所・氏名を明記した) レターパックを同封して提出してください。※窓口受取の場合は不要	
	スカラネット 入力	10月18日(火) まで	当日 23 時まで に送信 スカラネット入力下書き用紙をもとに、各自でインターネット入力により申請を行います。入力時の ID・パスワードについては、スカラネット下書き用紙返却時に奨学金窓口でお渡しします。	
	マイナンバー提出書 郵送	10月25日(火) 必着	スカラネット入力後、1 週間以内に「マイナンバー提出書」のセットに同封されている「提出用封筒」を使用して、マイナンバー書類を日本学生支援機構へ簡易書留で郵送します。	
選考と採用	奨学生採用選考	11月	日本学生支援機構への推薦は、学内奨学生委員会で人物・学力・成績等を総合的に審査・選考の上、決定します。推薦後、日本学生支援機構にて家計状況の審査・選考がされ、採否が決定します。	
	採否結果 通知	12月上旬	選考結果については、大学より本人および保護者様へポータルで通知します。通知をメールで受信できるよう設定しておいてください。	
	奨学金(初回) 振込	12月9日(金)	奨学生に採用されると、指定の月より毎月 11 日(当日が土日祝の場合は前営業日)に振り込みがあります。口座状況によっては正常に振り込まれない場合がありますので、毎月振込があるかどうか確認をするようにしてください。	
本採用手続き	返還誓約書等 配布 ※給付は、 授業料減免申請書(前期分) 授業料等延納願(前期分) 授業料等納入および除籍猶予願(前期分)	2023年 1月中旬	この段階では、まだ奨学生として正式に採用されていません。 日本学生支援機構より書類が届き次第、学生ポータル、保護者ポータルへ連絡の上、採用説明会もしくは奨学金窓口で配布予定です。	
	返還誓約書 提出 ※給付は、 授業料減免申請書(前期分) 授業料等延納願(前期分) 授業料等納入および除籍猶予願(前期分)	2023年 2月上旬	学校の定める期限までに提出しない場合、日本学生支援機構の規程により採用が取消され、既に貸与(給付)された奨学金の一括返金が必要になる場合があります。	

【締切厳守のお願い】

毎年、「提出を忘れていた」「書類が準備できなかった」等で、提出遅れが発生しています。いかなる場合であっても、締切に遅れた場合は、申込ができません。不備なども考え、提出日より、早めに提出をするようにしてください。

4. 提出書類

※提供された情報は奨学金業務（返還業務を含む）のために利用され、その他の目的には利用されません。

項番	書類名	備考
全 員	① スカラネット入力下書き用紙 ＋ 下書き用紙のコピー (記入したものをコピーしてください)	申請する奨学金の種別によって記入項目が異なります。 内容をよく読んで、該当する質問事項のすべてを選択・記入してください。 確認後、返送をしますので、それをもとに入力を開始してください。 ※表紙左上に【給付奨学金（貸与併用申込み）用】とありますが、貸与奨学金のみ申込の方もこの冊子に記入してください。
	② 本人名義の普通預金口座通帳 のコピー	奨学金受取用の預金口座のコピーを提出してください。 (貯蓄口座・信託銀行・農協・ネットバンクは受付不可)
貸 与 奨 学 金 申 込 者	③ 確認書兼個人情報 の取扱いに関する同意書 『奨学金を希望する皆さんへ』 巻末に有り	貸与奨学金を希望する学生が自筆し、提出してください。
	④ 収入状況の確認 (両面印刷 A4 用紙)	生計維持者の収入状況について該当する項目の左側にレ点を記入（金額計算が必要な項目は記載に従って右側に年額を記入）し、必要な証明書があれば提出してください。 (『奨学金を希望する皆さんへ』の P.32～P.35 参照) ※両面確認してください。
	⑤ 第一種奨学金・第二種奨学 金を選択された方へ (貸与のみ提出書類と記載のある A4 用紙)	希望の保証制度にチェックし、選んだ制度の内容を確認のうえ、点線に○をしてください。(人的保証の場合、氏名や続柄の記入も必要)
	⑥ 【対象者のみ】 保証人の資産等に関する 証明書のコピー (人的保証選択者かつ、保証人が 65 歳 以上または 4 親等以外の場合)	保証人が「65 歳以上」もしくは「4 親等以外」を選択している場合、保証人の収入・所得や資産に関する証明書類の提出が必要になります。 <例> ・給与所得者 ⇒ 年間収入金額が 320 万円以上の「所得証明書」等 ・給与所得者以外 ⇒ 年間所得金額が 220 万円以上の「確定申告書控」等 ・直近の記載額が貸与予定総額以上の「預貯金残高証明書」 ・固定資産の評価額が貸与予定総額以上の「固定資産評価証明書」 その他の証明書、詳細については『奨学金を希望する皆さんへ』P.24～P.26 を参照してください。
	⑦ 【対象者のみ】 各種証明書	スカラネット入力下書き用紙の中で、下記に該当した場合、証明書の提出が必要になります。 (1) J-あなたの家族情報 ⇒ 3. 生計維持者について ⇒ (f) 項目で、回答が 1、2 以外の場合。⇒ 別紙『収入状況の確認』 を参考に必要書類を確認後、提出してください。(『奨学金を希望する皆さんへ』P.32～P.35 参照) (2) K-特記情報の設問 3 以降で「はい」または金額記入があった場合。⇒ 『奨学金を希望する皆さんへ』P.39 を参考に必要書類を確認後、提出してください。 ※該当する証明書が提出できない場合は、「いいえ」を選択してください。
給 付 奨 学 金 申 込 者	⑧ 給付奨学金確認書 『給付奨学金案内』巻末に有り	日本学生支援機構が定める規定に同意する記載のほか、現在【給付奨学金】【第一種奨学金】を受けている学生は、その奨学金を辞退・調整されることを承諾する旨の記載があります。
	⑨ 大学等への修学支援の措置 に係る学修計画書	各項目 200 文字以上で記述してください。 ※給付奨学金を希望される学生は必ず提出してください。
	⑩ 授業料等減免申請書 (後期分)	給付奨学生に採用されると『授業料等減免制度』の対象となる為、前・後期ごとに申請書を提出することで授業料の減額・免除を受けることができます。 奨学金と本制度は別申請となっている為、もし期日までに申請がされない場合、 授業料等の減免を受けられなくなってしまいますので、忘れずに手続きをしてください。
	⑪ 【対象者のみ】 各種証明書	下記に該当した場合、証明書の提出が必要になります。 スカラネット入力下書き用紙の中で、 ・B-誓約欄 ⇒ 国籍の設問で「日本国籍以外」の場合 ⇒ 「在留カード」等、在留資格・在留期間が明記されているもののコピー ※「住民票の写し」は原本のみ受付可能 (『給付奨学金案内』)P.13 参照) ・J-あなたの家族状況 ⇒ 設問 1 で「はい」の場合 ⇒ 「施設等在籍証明書」等、該当する書類一式 (『給付奨学金案内』P.18 参照)

★上記書類一式提出後に配布・提出

項番	書類名	備考
全 員	「マイナンバー提出書」のセット	封入されている『【重要】マイナンバー(個人番号)の提出方法』をよく読んで簡易書留で郵送して下さい。 ※スカラネット入力時、記載されている ID・パスワードが必要になりますので、 スカラネット入力後に郵送してください。

※給付奨学金を希望される方で自宅外通学者の方は、採用後、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要になります。ただし、生計維持者が単身赴任等で一時的に別居しているなど、自宅外と認められない場

合があります。(『給付奨学金案内』P.14 参照)

5. スカラネット入力下書き用紙の記入について

○ G-奨学金申込情報

既に貸与・給付中の奨学金があり、追加（もしくは第一種⇄第二種へ切替）を希望する場合

- ・ 切替 希望 ⇒ 申込区分は(8)か(9)、奨学生番号入力
- ・ 追加(併用)希望者 ⇒ 申込区分は(10)もしくは(11)、奨学生番号入力
- ・ 追加(併用)希望者で不採用の場合、現在貸与中の奨学金と違う種類を希望
⇒ 申込区分は(13)もしくは(14)奨学生番号入力

○ F-奨学金貸与額情報

2. (4) あなたは何月から貸与を希望しますか。

⇒ 第二種奨学金は、貸与開始時期を 10~12 月のいずれかの月で選択が出来ます。
第一種もしくは併用は 10 月開始になります。

4. (1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

⇒ 第二種奨学金は、どちらか選択する必要があります。(『奨学生を希望する皆さんへ』P.16・17)

○ J-あなたの家族情報

3. (3) 生計維持者② (父、母など)

⇒ 収入がない場合でも、父か母はこちらに記入してください。その場合、(f) で 10「無職」としてください。

○ K-特記情報

1. あなたの支払っている年間授業料

⇒ 右記の金額で入力してください。

学 部	1 年	2 年	3 年	4 年
国際学部	79	79	79	79
スポーツ健康学部	90	90	90	90
経済学部、経営学部	79	79	79	79
工学部、デザイン工学部	106	106	106	106

6. 本採用時の提出書類

12月中旬頃、大学より配布・提出連絡をします。

奨学金種	提出書類
貸与奨学金	【人的保証選択者】 ・ 返還誓約書 ・ 連帯保証人の収入に関する証明 ・ 連帯保証人の印鑑証明 ・ 保証人の印鑑証明 ・ 保証人の収入に関する証明※対象者のみ 連帯保証人は原則、保護者1名、保証人は65歳未満の4親等内の親族です。『奨学金を希望する皆さんへ』P.24~26参照)特に、保証人の方には事前に必ず承諾が必要です。採用後、保証人を引受けてもらえないなどの事情ができた場合、その変更手続きは大変複雑であり、場合によっては採用取消および奨学金の一括返金が必要になります。もし、65歳以上、4親等以外の保証人を選任する場合は、申請が可能なのか事前に学生生活課で確認をします。
	【機関保証選択者】 ・ 返還誓約書 ・ 保証依頼書
給付奨学金	・ 授業料等減免申請書(前期分)・ 授業料等延納願(前期分)・ 授業料等納入および除籍猶予願(前期分)

7. 随時募集(家計急変者対象)

家計急変が発生し、学費納入に不安がある方は奨学金窓口で相談してください。

8. 担当窓口・受付時間

学生生活課 奨学金窓口

平日：9時~17時 土曜：9時~12時30分

電話：072-875-3070(奨学金係直通) / 3069

メール：shogaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp

9. 採用後の注意事項

奨学金、授業料等減免関係のお知らせは、ポータルシステムのみでのご連絡です。機種変更やスマホの故障によりメールが見られなかった為に、奨学金の廃止、授業料の減免が受けられない等の事態が発生しても大学は一切責任を負いません。保護者ポータルもありますので、必ず見逃しのないようにしてください。

— 申込情報の取り扱いについて —

本学では、申込時に取得した情報を授業料等減免事務(還付時の口座情報)、学内での連絡先共有で利用する場合がありますが、その他には利用されません。